

新年のごあいさつ



美郷町長

松田 知己

新年おめでとうございます。皆さんには自分史を彩るいろんな出来事を胸に去来させながら昨年を振り返り、新たな期待を持ってこの新春をお迎えのことと存じます。私も改めてさまざまな出来事を振り返り、「経験を知恵に」の思いを持って、今年の取り組みに意欲と決意を新たにしているところです。

さて、昨年は皆さんご存知のとおり、美郷町合併5周年の年でした。一つの節目と言える年だからこそ、町政においては各般にわたっていろんな取り組みを展開した年でもありました。

その中の大きい一つは、何と云っても公共施設と学校施設の再編計画の策定です。いろんな想いがある中、広い視野でご理解いただいた両施設の再編統合は、物心ともに「従前」に一つの区切りを付けるとともに、今後の新たな展開、いわば町づくり第二ステージの幕開けを宣言する意義を持っていま

す。現在、その実現に力を注いでおりますが、皆さんにはこれからも「変化が持つ将来的意味」に共通認識をいただき、ご協力をお願いいたします。

また、初めて取り組んだ施策のプロジェクト化も大きい位置付けでした。現在町では、水環境保全と交流促進をテーマにしたプロジェクトを各課横断的に展開しております。これは、誕生から一定時間を経た美郷町が今後どういう町になりたいのか、その大きな流れと方向性を示す意思表示の意味も持ちます。ちなみに、美郷町住民活動センター「みさぼーと」の取り組みも同様です。「美郷町はこういう町なんだ」という町の「姿と心」を皆さんで創り上げていくよう、今後も取り組みへのご参画をお願いいたします。

その上で今年も、また新たな課題に挑みます。この4月、学校再編計画に基づき六郷小学校と六郷東根小学校を

統合いたします。その後も順次、計画に基づき統合を進めてまいります。その空き校舎の活用等の検討に着手しなければなりません。この対応も公共施設や学校施設の再編と同様、今後の町づくりに影響がありますので、公共施設再編計画を含めて、改めて広い観点で望ましい姿を慎重に議論してまいります。

申すまでもなく、私たちを取り巻く環境はあらゆる分野で「冬」です。しかし、こういう時こそ「冬来たりなば春遠からじ」の思いで踏ん張り、頑張るしかありません。引き続き、一つひとつ真剣に取り組んでまいりますので、皆さんには町の取り組みに正しい情報を共有していただき、今後の町づくりに広くご参画いただけますよう重ねて心からお願ひ申し上げます。新年のあいさつといたします。



新年のごあいさつ



美郷町議会議員

高橋 猛

新年あけましておめでとうございませす。気持ちも新たに、穏やかな新春をお迎えのことと存じます。

昨年の流行語大賞に「政権交代」が選ばれましたが、まさに政治上歴史に残る出来事でありました。一時期、自民党に代わって細川政権が誕生した時（平成5年）がありました。今回は全く違う状況であります。これまでと手法が違うことから官僚はもろろ不安を感じている状況であります。そんな中で私が一番注目しているのは、現政権が一丁目一番地と位置づけている「地域主権改革」であります。

平成12年「地方分権一括法」が施行され、これからは地方の時代、国と地方は主従の関係から対等の関係といわれました。ところが、権限が委譲されても肝心の税源が十分移譲されず、逆に

三位一体改革によって地方財政は逼迫し、将来に対する財政的な不安から合併を余儀なくされたのが現実でした。多くの町村は歳入の半分以上を国に依存しなければならぬ状況です。したがって、国の配分によって地方の財政

が大きく影響を受けてきました。「地域主権改革」は三位一体改革によって疲弊した地域を立て直すため、地方交付税のアップ、ひも付き補助金を廃止し自治体が自由に使える一括交付金の創設等、地方重視の考えのように思います。財源論等様々な課題があるようですが、地方再生のためにもおおいに期待したいと思います。

一方、町においては新年から本庁舎がスタートし、まさに公共施設再編に向けて動き出しました。合併における行政のスリム化は大きな課題である訳ですが、ご理解をいただき、概ね順調

に推移している事は、美郷町ならではの事ではないかと思えます。議会といたしましても定数の削減に伴って、課せられた責務はより大きくなってきておりますが、新議会においても時代の変遷に対応すべく見直しを図りながら、よりよい町づくりに向けて頑張る所存ですので宜しくお願い申し上げます。

東京大学の学長を務められた町出身の佐々木毅さんが、バブルが崩壊した頃「収縮の時代」に入ったと表現されました。地方はいざなぎ景気も感じることなく未だに縮んでいる状況ですが、既成概念にとらわれることなく、自らの意識を変えながら前向きに取り組みたいかなければならない時代と思えます。皆さんにとりまして、本年がより良き年でありませう祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

